

「次月峠」で花壇整備ボランティアを実施しました

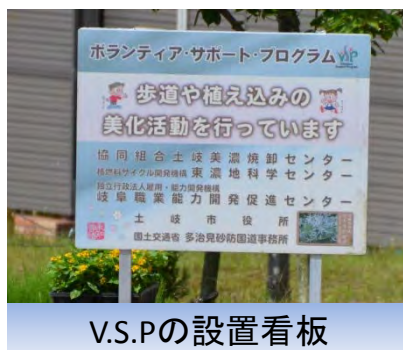
多治見砂防国道事務所

平成25年6月27日(木)朝9時より、国道21号「次月峠」交差点付近で、「協同組合土岐美濃焼卸センター」、「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 岐阜職業能力開発促進センター」、「独立行政法人 日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター」から52名、土岐市役所職員1名、当事務所職員3名が、ボランティア・サポート・プログラムの活動として、花壇整備、歩道のゴミ拾い等を実施しました。

ボランティアサポートプログラム(V.S.P)とは、地域住民の方々や企業等が実施団体となり、地元自治体と道路管理者が協力して道路の清掃・植栽の管理等を行い、地域にふさわしい道づくりを進めることを目的とした取り組みです。実施団体、地元自治体、道路管理者とが協定を結び、協定内容に基づいて、実施団体は清掃や植樹管理を行い、自治体と道路管理者はゴミの収集や安全指導、保険の加入等の実施団体のサポートを行っています。



ボランティア作業の様子



V.S.Pの設置看板



出典:電子国土web.NEXT

国土地理院 利用規約 250



1,800ポットの花苗を植えました



整備された花壇の様子